

登録コード	UAA54500	開講年度	2026					
授業題目	心理学実践演習Ⅱ				担当教員	今井 章 他		
					副担当	高瀬 弘樹・岡本 卓也・松本 昇・白井 真理子		
単位数	2	講義期間	通年	曜日・時限	集中・不定期			
				授業形態	演習			
信大コンピテンシー	非該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				⇔	【授業の達成目標】		
	2 6 UAカリ・総人社・人間文化学， 2 5 UAカリ・総人社・人間文化学							
	【人間文化学】思想、歴史、社会、情報、言語、芸術など多種多様な側面を持つ人間文化に関する深い素養と幅広い理解を基盤として、その文化を継承し、柔軟な感性と創造的な論考により専門領域の問題を客観的・学問的に究明し、独自に理論を構築する能力や仮説を検証する能力を有する。				⇔	人間と社会を中心とした多種多様な側面を持つ人間の心理に関する深い素養と幅広い理解を基盤として、その文化を継承し、柔軟な感性と創造的な論考により専門領域の問題を客観的・学問的に究明し、独自に理論を構築する能力や仮説を検証することができる。		
	【人間文化学】人間文化に関する文献・資料を収集・調査し分析・考察する人文学の伝統的な手法を身につけるとともに、他の学問分野の解析手法を併せて修得することによって、複雑多様化する現代社会の課題に柔軟な対応ができる応用力を有する。				⇔	人間行動に関する文献・資料を収集・調査し分析・考察する心理学の伝統的な手法を身につけるとともに、さまざまな分野の解析手法を併せて学ぶことにより、複雑多様化する現代社会の課題に柔軟な対応ができる応用力を身につけることができる。		
(2)授業の概要	心理学では、実験や調査計画に基づき様々なデータを取得する。データの分析・解釈には、適切な手法に基づいたデータ分析が欠かせない。本授業では、R，SPSS，MATLABなどといった解析ツールを利用しながら、心理学のデータ分析方法の習得を目指す。							
(3)授業計画	第01回：ガイダンス 第02回：心理学統計の基礎 第03回：統計的仮説検定 第04回：相関分析 第05回：分散分析 第06回：重回帰分析（1） 第07回：重回帰分析（2） 第08回：因子分析（1） 第09回：因子分析（2） 第10回：構造方程式モデリング（1） 第11回：構造方程式モデリング（2） 第12回：生理学的データの解析（1） 第13回：生理学的データの解析（2） 第14回：生理学的データの解析（3） 第15回：まとめ 期末試験の有無 無							
(4)成績評価の方法	各単元の小課題(40%)および期末レポート(60%)により評価する。 得点率による評価基準は次のとおりとする。90%以上：秀，89-80%：優，79-70%：良，69-60%：可，59%以下：不可。							
(5)成績評価の基準	それぞれの分析法への理解および分析の実践力の観点から評価する。それぞれに極めて高い水準の能力が認められれば「卓越している」と評価し，非常に高い水準の能力が認められれば「かなり上にある」，高い水準の能力が認められれば「やや上にある」，一定水準の能力が認められれば「その水準にある」と評価する。							
(6)事前事後学習の内容	学んだ分析方法についての知識を役立てられるよう，毎回の授業において復習をし，自身の研究データを分析する際に生かせるよう努めること。							
(7)履修上の注意	心理学について基礎的知識（特に心理学研究法，心理実験法，心理統計法）があることを前提に授業を進める。							
(8)質問,相談への対応	授業での疑問は授業内で解決できるよう，積極的に発言する。その他の場合は，いずれかの担当教員(imaiakr[at]shinshu-u.ac.jpなど)にポイントメントを取った上で，個別に相談する。							
【教科書】	使用しない。							
【参考書】	菊野 雄一郎（著）(2021) 心理学実験のためのMATLAB 工学社，2530円 小杉考司(著)（2022）心理学データ解析基礎：RとJASPで学ぶ楽しい心理統計の世界，3300円							